



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 M-PMO

コード番号 3251 URL <http://www.pmo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柳瀬 聡

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 加藤 隆行

TEL 03-3406-2477

四半期報告書提出予定日 平成22年11月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	1,908	—	62	—	67	—	35	—
22年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	482.12	465.04
22年3月期第2四半期	—	—

※平成23年3月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成22年3月期第2四半期実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	1,438	670	44.5	8,808.53
22年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 640百万円 22年3月期 1百万円

※平成23年3月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成22年3月期は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	187.00	187.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	187.00	187.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,332	—	130	—	130	—	71	—	989.00

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

※平成23年3月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2およびP.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有

新規 1社（社名 派蒙蜂巢停車場管理(北京)有限公 ）、除外 1社（社名 司 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 80,160株 22年3月期 1株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 7,490株 22年3月期 1株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 72,670株 22年3月期2Q 1株

（注）平成23年3月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成22年3月期は記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想、将来に関する記述等は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいることから、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。
業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	2
2. その他の情報.....	2～3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4～8
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4～5
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
【第2四半期連結累計期間】.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	7
(5) 重要な後発事象.....	7～8
4. 補足情報.....	9
(1) 受注実績.....	9
(2) 販売実績.....	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出とエコポイントやエコカー補助金など政府の景気刺激策に下支えされ、企業の収益には改善の傾向が見受けられる状況にあるものの、円高の進行、欧米の景気減速や中国の成長鈍化などを受け、雇用情勢の改善には至らず、先行きの不透明な状況が続いております。

駐車場業界におきましては、駐車場の稼働状況は回復基調にあるものの、自動車購入のエコカー減税・補助金制度等の施策による効果は少なく、依然として自動車の利用離れは解消されず、引き続き、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループの国内の活動においては、営業活動の効率化及び営業受注拡大を目的に、コンサルティング営業部門と駐車場管理運営部門を統合して「事業開発本部」を創設し、積極的営業展開を実施した結果、当第2四半期連結累計期間中に、15現場1,531車室（駐輪車室1,311台は含まず）の新規現場を獲得致しました。

また、各現場の特性にあわせた売上施策、品質向上のサービス提供を実現するため、各現場の集合体をユニットとし、事業開発本部の傘下に独立採算を目的としたユニットを設置するなど、大幅な組織改革を実施いたしました。

この結果、既存現場においては、ユニット内の利益追求に対する責任体制が今まで以上に明確化し、各ユニットにおいて利益を極大化するための様々な売上増収施策、経費削減策を実施し、利益率が改善しております。

中国国内での活動においては、中国重機協会駐車場整備工作委員会の特別顧問である当社代表取締役会長大嶋及び中国に幅広い人脈をもつ当社取締役鄒を中心に、天津市、上海市やその中にある各区人民政府へのアプローチを積極的に進めており、現在、各具体的案件について契約交渉中の状況です。

一方、販管費等の費用については、役員1名の増員、国内及び海外における営業範囲の拡大に伴う営業人員の増員、改正省エネ法に伴う対策費用の発生、中国天津市への進出に向けた管理体制の整備や現地調査等による出張費、営業準備費用の増加等により、一時的に増加しております。

この結果、第2四半期連結累計期間における売上高は1,908,530千円、営業利益は62,188千円、経常利益は67,059千円、四半期純利益は35,035千円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前第2四半期連結累計期間との比較については記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末の資産合計は1,438,945千円、負債合計は768,813千円、純資産合計は670,132千円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前事業年度の連結業績との比較については記載しておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期予想につきましては、第2四半期累計期間の利益において当初の計画を大幅に上回っているものの、平成22年10月29日に開示しております「固定資産の取得のお知らせ」にも記載のとおり、固定資産の取得に関する多額の発生や、経済情勢、市場動向等、業績予想に影響を及ぼす要因が多いため、この度は業績予想を変更せず、修正が必要な場合には、適時に開示致します。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当社は、平成22年4月30日に、派蒙蜂巢停車場管理（北京）有限公司に対する65%の出資をしたことに伴い、同社が連結子会社となりました。

なお、当第2四半期連結財務諸表の作成にあたっては、同社が6月30日現在で実施した決算に基づく財務諸表を使用しております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	651,175	—
売掛金	63,906	—
仕掛品	59	—
貯蔵品	9,305	—
前払費用	107,345	—
その他	76,196	—
流動資産合計	907,988	—
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置(純額)	89,609	—
リース資産(純額)	146,555	—
その他(純額)	29,614	—
有形固定資産合計	265,779	—
無形固定資産	7,303	—
投資その他の資産		
敷金及び保証金	175,046	—
保険積立金	72,982	—
その他	9,845	—
投資その他の資産合計	257,874	—
固定資産合計	530,957	—
資産合計	1,438,945	—
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	13,370	—
リース債務	35,210	—
未払金	146,915	—
未払法人税等	38,170	—
前受金	132,465	—
預り金	226,091	—
その他	33,377	—
流動負債合計	625,600	—
固定負債		
リース債務	115,132	—
退職給付引当金	14,602	—
資産除去債務	7,363	—
その他	6,114	—
固定負債合計	143,212	—
負債合計	768,813	—

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	158,703	—
資本剰余金	138,123	—
利益剰余金	411,262	—
自己株式	△66,022	—
株主資本合計	642,066	—
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△1,950	—
評価・換算差額等合計	△1,950	—
新株予約権	7,478	—
少数株主持分	22,537	—
純資産合計	670,132	—
負債純資産合計	1,438,945	—

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	—	1,908,530
売上原価	—	1,608,543
売上総利益	—	299,987
販売費及び一般管理費	—	237,798
営業利益	—	62,188
営業外収益		
受取手数料	—	5,739
その他	—	2,572
営業外収益合計	—	8,312
営業外費用		
支払利息	—	3,161
その他	—	279
営業外費用合計	—	3,440
経常利益	—	67,059
特別損失		
固定資産除売却損	—	40
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2,219
特別損失合計	—	2,259
税金等調整前四半期純利益	—	64,800
法人税、住民税及び事業税	—	32,412
法人税等調整額	—	713
法人税等合計	—	33,126
少数株主損益調整前四半期純利益	—	31,673
少数株主損失(△)	—	△3,362
四半期純利益	—	35,035

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

1. 子会社の設立

平成22年5月13日及び平成22年5月14日開催の取締役会にて承認されております海外子会社の設立に関しまして、この度、平成22年10月29日に設立が完了いたしました。

設立の目的といたしましては、天津市における市政府との協議を通じ、同市における駐車場運営及び建設に関するコンサルティング、都市交通研究に高いニーズがあると判断したためであります。

子会社の概要(平成22年5月13日開催)

1. 商号	派盟静態交通技術開発(天津)有限公司
2. 代表者	大嶋 翼(当社代表取締役)
3. 所在地	天津市和平区南馬路11号和平創新ビル2112号
4. 設立年月	平成22年10月
5. 主な事業内容	駐車場及び都市交通に関するコンサルティング
6. 決算期	12月
7. 資本金	15,000千円
8. 出資比率	株式会社駐車場総合研究所 100%

子会社の概要(平成22年5月14日開催)

1. 商号	派蒙蜂巢停車場管理(天津)有限公司
2. 代表者	大嶋 翼(当社代表取締役)
3. 所在地	天津市和平区南馬路11号和平創新ビル2111号
4. 設立年月	平成22年10月
5. 主な事業内容	駐車場管理運営
6. 決算期	12月
7. 資本金	1,000,000元(中国元)
8. 出資比率	株式会社駐車場総合研究所65% 北京蜂巢車庫産業發展有限公司35%

2. 重要な設備投資

平成22年10月29日開催の取締役会において、下記のとおり固定資産の取得を決議いたしました。

(1) 目的

安定的収益源の確保のため、施設駐車場を取得するものであります。

(2) 投資の内容

①取得資産の概要

土地 横須賀市小川町2番11号・2番14号

総面積 1,721.18㎡

建物 横須賀市小川町2番11号・2番14号

鉄筋鉄骨コンクリート造

陸屋根地下2階9階建

総面積 12,020.58㎡

②取得価額 400,000千円

③決済方法 自己資金及び借入金

(3) 取得等の時期

平成22年10月29日 契約締結日

平成22年11月30日 物件引渡日(予定)

4. 補足情報

(1) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績は次のとおりであります。

部門	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
コンサルティング	7,450	—	3,200	—

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 駐車場事業は、該当ありません。

3. 平成23年3月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比は記載しておりません。

(2) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別に示すと、次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)						
	物件数 (件)	構成比 (%)	車室数 (車室)	構成比 (%)	金額※2 (千円)	構成比 (%)	前年 同四半期比 (%)
駐車場事業別※1	91	100.0	17,747	100.0	1,900,080	99.6	—
運営受託※2	73	80.2	11,495	64.8	1,621,820	85.0	—
管理受託※3	18	19.8	6,252	35.2	269,860	14.2	—
その他	—	—	—	—	8,400	0.4	—
コンサルティング	—	—	—	—	8,450	0.4	—
合計	91	100.0	17,747	100.0	1,908,530	100.0	—

(注) 1 駐車場管理運営事業の運営受託における当社の販売先は、不特定多数の駐車場を利用するユーザーであり、管理受託の販売先は、駐車場のオーナーであります。

2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

3 運営受託とは、オーナーより駐車場を借り上げ、駐車場の経営自体を代行するサービスを言います。

4 管理受託とは、オーナーに対し、当該駐車場の管理サービスを提供することを言います。

5 当社が保有する駐車場はありません。

6 駐輪場事業については、駐車場事業に含めております。

7 平成23年3月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比は記載しておりません。

また、駐車場事業を地域別に示すと次のとおりであります。

地域	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		
	車室数(車室)	金額(千円)	構成比(%)
関東地区	10,427	1,318,082	69.3
関西地区	6,492	487,439	25.7
その他地区	828	94,558	5.0
合計	17,747	1,900,080	100.0